学部

8学部26学科13専攻1プログラムから興味・関心のある分野を見つけ、それを追究できる学びのフィールドがあります。その学びのフィールドにおいては学部それぞれのポリシーに基づき、急速な変化を続ける現代社会で活躍するための 教養や専門知識を身に付けることができる「実学教育」が 中央大学の強みです。

法学部

法学および政治学の分野に関する理論と諸現象にかかる教育研究を行い、幅広い教養と深い専門的知識に裏打ちされた理解力、分析力および問題解決能力を涵養し、現代社会のさまざまな分野において活躍することのできる人材を養成します。

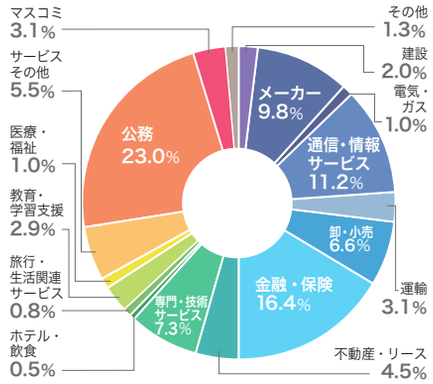
法学部は、「英吉利法律学校」の創立以来135年以上の歴史と伝統を持つ学部です。これまで法曹界をはじめ政・官・実業界などに優れた人材を輩出し、伝統を継承する一方で、社会の変化と大学教育に対する要請に応えるため、教育の内容・方法などの改革に絶えず取り組んできました。法律学科・政治学科においてはコース制を導入し、２年進級時にコースを選択できます。また、国際企業関係法学科は激変する国際化社会に対応可能な地球規模のリーガルマインドを養える学修体制となっております。

280講座以上の演習科目(ゼミ)、各界で活躍する実務家の授業、国際化に対応したきめ細かいカリキュラムを通し、法科大学院をはじめ、どのような進路に進む場合にも必要とされる能力の涵養を図っています。また、「やる気応援奨学金」や茗荷谷スチューデントハブなど法学部独自のシステムで、学生の自主性を育てます。

2023年4月に東京都文京区に開校した茗荷谷キャンパスは、専門職大学院と後楽園キャンパスに近接した位置にあり、さらなる法曹一貫教育の強化、文理融合教育の展開、実務家を招いた実践教育を実現しています。

学科	（茗荷谷キャンパス）
法律学科	
国際企業関係法学科	
政治学科	

2022年度卒　業種別就職状況



経済学部

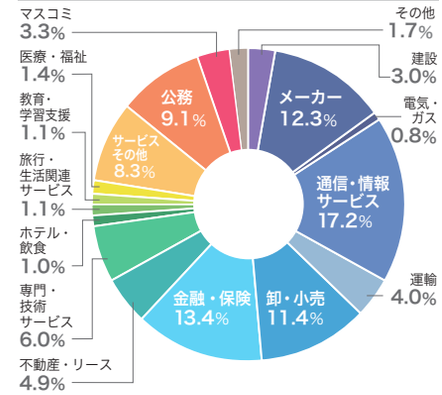
経済学およびその関連領域にかかる教育研究を行い、広く国際的で豊かな教養・学識と専門能力を有し、社会のさまざまな分野においてその学識と能力を発揮することのできる人材を養成します。

経済学部では従来から実践教育を重視し、専門知識と社会人基礎力の養成に力を入れています。具体的には、「ゼミナール」、「キャリア教育」、「グローバル人材育成」を３つの柱として、世界で通用する実践力を身に付ける体系的なカリキュラムが組まれており、その活動を支援する「給付奨学金制度」も充実しています。ここ数年のトピックとして、「ゼミナール」については、国内外での実態調査を「グローカル・フィールド・スタディーズ」科目として単位化したことや、自治体の取り組みに参加して政策提言するなどの地域連携強化が挙げられます。また、ゼミの中で社会人基礎力を自己評価していく、経済学部独自のシステムも導入しました。

「キャリア教育」については、１年次に「ビジネス・プロジェクト講座」を設置して企業での課題にリアルに触れる機会を設け、この英語版の講座も設置しています。その他、２年次の「海外インターンシップ」、３年次の「インターンシップ」など、キャリア教育科目が豊富に設置されています。「グローバル人材育成」については、「グローバル・リーダーズ・プログラム」を開設。「海外インターンシップ」では、本学の卒業生で組織する海外の白門会支部と連携してコースを増設するなど、地球規模で活躍できる人材の養成に取り組んでいます。なお、就職はあらゆる業界に強く、公務員が1割程度いることも特徴です。

学科	（多摩キャンパス）
経済学科	
経済情報システム学科	
国際経済学科	
公共・環境経済学科	

2022年度卒　業種別就職状況



商学部

商学にかかる各専門分野およびその関連領域における理論並びに実務に関する教育研究を行い、広く豊かな学識と優れた専門能力を有し、ビジネスをはじめとする各分野を通じて社会に貢献できる人材を養成します。

■学科名称変更

「商業・貿易学科」は、2022年4月から「国際マーケティング学科」に名称変更しました。国際社会において、消費者の価値観の多様化や企業の国際化、貿易の重要性が高まるなかで、国際的な視点で最先端のマーケティングと貿易の理論や実務を学ぶことができます。

■プログラム科目

スポーツビジネスや海外企業へのインターンシップ、地域の課題解決を目標とした商品・サービス開発に挑戦できる PBL 科目(課題解決型学習)を多数新設しています。さらに、公認会計士などの職業会計人やファイナンシャルプランナー、証券アナリストなどの資格取得を目的とした講義の充実を図っています。

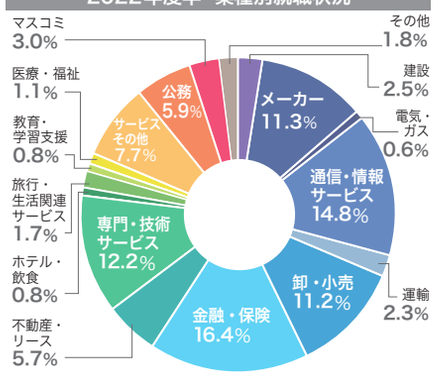
学科	(多摩キャンパス)
経営学科	
会計学科	
国際マーケティング学科※	
金融学科	

※2022年4月より商業・貿易学科から名称変更

プログラム科目では、明治安田生命保険相互会社に賛同いただき、2019年度から寄付講座・給付奨学金を設けており、サッカーを中心としたスポーツビジネスに関する実践的な教育を展開しています。また、海外インターンシッププログラムについて、インターンシップ先としてタイ・ベトナム・オーストラリア・モンゴルを設置し、商学部留学プログラムと併せて学生が海外へ渡る機会を積極的に提供しています。さらに、2019年3月からSDGs を実践するビジネス人材の育成を目的として、山梨県小菅村・丹波山村および東京都檜原村と交流・連携に関する協定を締結し、地域社会の持続的な発展に貢献できるよう域学連携を展開しています。

公認会計士試験では毎年多くの合格者を輩出し、トップクラスの実績を誇っています。2022年度は30名の商学部生(うち、17名現役生)が公認会計士試験に合格しました。

2022年度卒　業種別就職状況



理工学部

理学および工学の分野に関する理論と諸現象についての確実な知識と応用力を身につけ、新しい課題への果敢な挑戦力と組織をまとめる卓越した交渉力を持ち、人類共有の知的資産たる科学技術を継承し、自らの新発見を通じて積極的に社会貢献できる人材を養成します。

■設備・施設が充実した都心型キャンパス

理工学部は、東京ドームを間近に臨む後楽園キャンパス、3駅5路線が利用できる交通の要所にあります。ここには昔から研究者、学生、企業が集まり、共に研究し、成果を社会に還元し続けてきました。

キャンパス内には110以上の研究室や大型実験・研究設備がそろい、高度な研究に集中できる環境が整っています。

■理工学×英語教育×アントレプレナーシップ教育

理工学部では理工学の確固たる知識と教養を持ち、高度な英語運用能力と新たな価値を創造する精神(アントレプレナーシップ)を兼ね備えた人材の育成に取り組んでいます。

学科	(後楽園キャンパス)
数学科	応用化学科
物理学科	ビジネスデータサイエンス学科
都市環境学科	情報工学科
精密機械工学科	生命科学科
電気電子情報通信工学科	人間総合理工学科

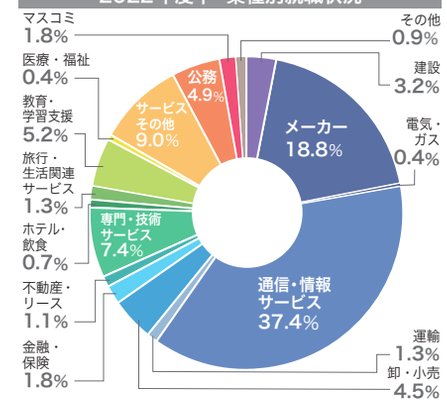
理工系の専門的な知識を学修できる学科ごとのカリキュラムに加え、2022年度入学生からは学部1年次から段階的に英語力を強化するカリキュラムを展開しています。

また、最新の国際情勢やビジネスプラン作成の基礎を学び、留学を通じて多様な価値観や異文化を理解する等、グローバルな視点を養う様々な取り組みを実践していき、国際社会で活躍できる理工系人材の輩出を目指します。

■理工独自のキャリアサポート

後楽園キャンパスには、理工学部生に特化した理工キャリア支援課があり、進学や就職に関する支援活動を行っています。4割近くにおよぶ大学院への進学や、民間企業、公務員への就職など、理工系学生の幅広い進路選択のフォローアップを行います。

2022年度卒　業種別就職状況



文学部

人文科学、社会科学および自然科学の諸分野に関する教育と研究を行っています。専門的な教育によって得られた学識と広汎な分野の教育から得られた幅広い教養を持ち、多様な社会に対応し得る人材を養成します。

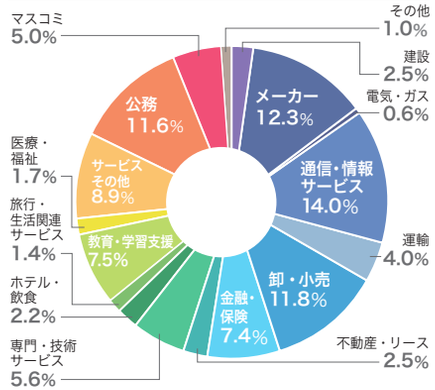
文学部は「人間とは何か」を探求する学部です。専門的知識×幅広い教養＝「人や社会を読み解く力を備えた人材」「多様な社会に対応できる人材」の育成を目指します。

2021年4月より、既存の13専攻に加え「学びのパスポートプログラム」を新設し、1学科13専攻1プログラムという多岐にわたる学問分野を生かした構成となりました。全専攻で約700以上もの専門科目を設置し、学生は他専攻の専門科目も広く履修できます。また、各共同研究室には学生の研究相談を受ける室員を配置し、合計約34万冊の蔵書で学修をサポートしています。

新設の学びのパスポートプログラムは、文学、文化、外国語、歴史学、哲学、社会学、教育学、心理学等、広範な領域を学べる文学部の利点を発展させ、自らの関心を深めていく新しい学びの領域です。このプログラムには、「社会文化系」と「スポーツ文化系」の２系統での学びが用意されています。入学手続時にどちらかの系統を選択して所属し、自らの関心に基づいたオリジナル・カリキュラムを作成し、学びをデザインしていきます。

学科・専攻（プログラム）	（多摩キャンパス）
人文社会学科	
国文学専攻	
英語文学文化専攻	
ドイツ語文学文化専攻	
フランス語文学文化専攻	
中国言語文化専攻	
日本史学専攻	
東洋史学専攻	
西洋史学専攻	
哲学専攻	
社会学専攻	
社会情報学専攻	
教育学専攻	
心理学専攻	
学びのパスポートプログラム	

2022年度卒　業種別就職状況



総合政策学部

人文科学、社会科学、自然科学、工学およびその他の関連諸分野から、現代社会における政策に関する理論および諸現象にかかる教育研究を行い、「政策と文化の融合」の理念の下に不確実でグローバルな時代に必要とされる高度な知識を持ち、文化的背景を理解して現代社会が抱える諸問題を解決し、より良い社会を構築し得る人材を育成します。

総合政策学部では、「政策」「文化」「外国語」「情報」を４つの柱とし、教養となる基礎知識を身に付けた後、学生の問題意識に応じた専門分野を深めるカリキュラムを提供しています。

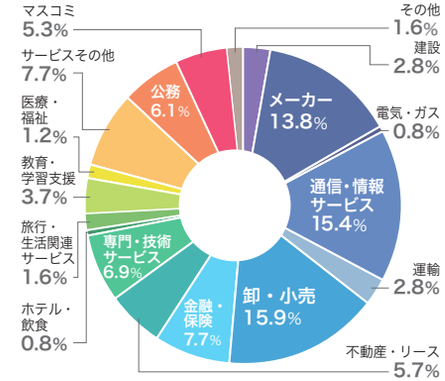
「外国語」教育は英語を含めた10語種（マレー・インドネシア語、ヒンディー・ウルドゥー語、ペルシア語などを含む）を開講し、専門分野に関するテーマについて英語やその他の外国語で授業を行う「GATE プログラム」を設置。「情報」教育は ICT を精緻に理解できるようカリキュラム設計されており、併せて、さまざまな分野にわたった魅力ある教授陣による「政策」と「文化」に関する専門教育を展開しています。

また、PBL（Project Based Learning）の拡充を志向し、学生の主体的に学ぶ意欲や活動、発表を全面的に支援しています。正規の授業科目として「外国語研修」ではドイツ、フランス、韓国、インドネシア等の語学学校での学びの機会を設けており、コロナ禍においてはオンラインの語学学習を実施しています。「Field Studies」は教員引率のもと海外調査を行います。さらに、学生主体で企画・運営を行う研究発表会「リサーチ・フェスタ」や、優れた研究プロジェクトを企画した学生へ給付する「プロジェクト奨学金」など、日々の学びをアウトプットし、教員・学友からフィードバックを得られる場もあります。

特色あるカリキュラムとゼミ教育、学外における学生の活動への支援により、国内外においてさまざまな視点から問題の発見・解決、社会現象の解明を行うことができる人材を輩出しています。

学科	（多摩キャンパス）
政策科学科	
国際政策文化学科	

2022年度卒　業種別就職状況



国際経営学部

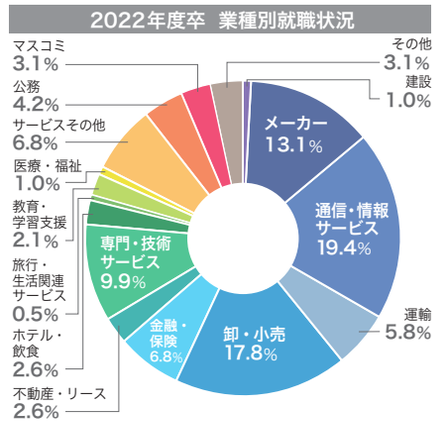
国際経営学部は、国際ビジネスの舞台で活躍できる実践知を備えたグローバルリーダーを養成することを目的としています。これから国際経営学部の学生として入学する皆さんには、その目的にふさわしい基礎学力のほか、語学力、表現力、論理的思考力、国際社会への関心、コミュニケーション能力、そして専門領域への探求心が求められます。自ら課題を発見し、それを解決すべく積極的に思考・行動し、母語および外国語の運用能力を高める努力を惜しまない学生を歓迎します。

国際経営学は、国際ビジネスの舞台で活躍できる実践知を備えたグローバルリーダーに求められる素養を身に付けるための学問です。学問領域としては、経営戦略や、マーケティング、財務、人的資源、制度などの企業経営に関すること、国際経済や産業経済、公共経済などのグローバル経済に関することとなります。加えて、中央大学の国際経営学部では、異文化理解のための国際地域研究や、ビッグデータの時代にあって的確に情報を収集し分析する情報統計、外国語運用能力を高めるためのビジネスコミュニケーション・交渉論といった幅広い学問を学ぶことが可能です。

本学部では、全科目の7割以上を外国語、主に英語で授業を行うことで、多くの留学生を受け入れ、内なる国際化を推進していきます。また、国際感覚を身に付けるための海外短期留学（1年次から留学可能）や中長期の海外留学、海外インターンシップなどもあります。なお、カリキュラムの基礎部分に当たる科目では、より理解を深めるために、週2回(計200分)授業を行い、徹底した基礎固めを行います。さらに、英語による授業のみで学位が取得できることも大きな特徴となります。※留学生は外国語科目としての「日本語」を履修する必要があります。

学科　（多摩キャンパス）

国際経営学科



国際情報学部

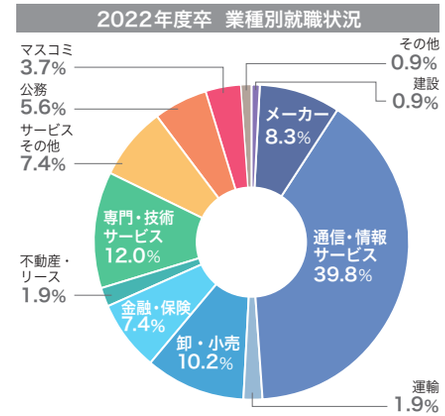
国際社会が抱える情報の諸課題を多角的に分析・解明した上で、その問題の解決策を論理的に構築し、国際社会に受容される情報サービス・政策を実現できる人材を養成します。

「情報の仕組み」、「情報の法学」、「情報の国際文化」が国際情報学部での学びです。

情報技術の発展著しい現代においては、情報通信技術の発展に法律が追い付いていないことがあります。そのような社会の課題解決には、「情報の仕組み」（情報技術）もさることながら、「情報の法学」（情報分野における法律やルール）に関する知識を併せ持つ必要があります。国際情報学部は「『情報の仕組み』と『情報の法学』の融合」を教育理念とし、これからの情報社会を担うために必要な専門教育を展開します。また、専門教育で培った知識やスキルを持って国際社会で活躍するには、相応の英語力に加え、哲学や倫理学、宗教学といった学問に基づく、異文化を理解し、他者と協働するための教養やメディアを適切に扱うための知識（「情報の国際文化」）を身につけなければなりません。これらのことから、本学部は、「情報の仕組み」、「情報の法学」、「情報の国際文化」を学びの柱に据えているのです。

本学部では、情報分野の最前線で活躍する実務家教員を多数招聘することで、変化の激しい情報社会の最新の動向を学生に提供する教育課程を実現しています。新宿区市谷田町という都心の立地を生かして、講師の招聘にとどまらない産官学の連携を図っていきます。

国際情報学部は "iTL" で表すことができます。この "iTL" には、国際情報学部の理念である「『情報の仕組み』と『情報の法学』の融合」を換言した "Information Technology & Law" と市ヶ谷田町キャンパスが情報社会の拠点となる "Ichigaya Tamachi Link" の２つの意味が込められているのです。

学科　（市ヶ谷田町キャンパス）

国際情報学科